

さいとう まさし

山形県家庭教育アドバイザー（庄内地区）

齋藤 雅志 氏（庄内町在住）

《専門領域：家庭教育全般（幼児・小学生）》

【プロフィール】

平成24年3月庄内町立立川小学校を校長で退職

平成24年4月から山形県家庭教育アドバイザー

平成30年3月まで三川町立みかわ保育園・幼稚園園長

幼・小連携の接続プログラムの開発や幼児期から児童期にかけての発達課題・子育て支援について研究しています。また、社会体育としてのスポーツ活動の普及にも取り組み、小中学生や一般社会人を対象とした体力づくり教室、立川体操スポーツ少年団の指導や小学校の器械運動指導も行っています。今、課題になっている「いじめ・体罰」防止策にも取り組んでいます。社会教育担当者や高齢者を対象にした生涯学習全般の支援にもあたっています。

前山形県国公立幼稚園会会長、山形県スポーツ少年団副本部長、スタートコーチ(スポーツ少年団)インストラクター、山形県体操協会会長、庄内町学校運営協議会委員、社会教育主事有資格。平成29年度、山形県「子どもの生活習慣に関する指針(やまがた子育て5か条)」の策定委員を務めました。

※著書：「三川版保・幼・小接続カリキュラムの実践」「エッセイ集：出会い・触れ合い・支え合い 朝のさわやか歳時記」

【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町
乳幼児を持つ保護者	今、大切にしたい子どもの生活習慣 ～やまがた子育て5か条を親子で実践～	庄内町
小学生を持つ保護者	親子で楽しくトランポリン ～賢い子に育つ生活習慣～	庄内町
事業所の会員	未来をたくましく生き抜く子どもを育てる	酒田市
保育園・幼稚園・小学校教員	保幼小の接続期における教育の充実	酒田市
新入学児童保護者	就学へ向け、小学校への期待を膨らませて（就学時健診）	鶴岡市
小学児童及び保護者	脳が喜ぶ生活習慣・運動習慣（学校保健委員会）	鶴岡市



ご と う け い こ

山形県家庭教育アドバイザー（庄内地区）

後藤 敬子 氏（酒田市在住）

《専門領域：命の誕生・思春期・性教育・生き方教育》

【プロフィール】

公立病院と行政で助産師、看護師として勤務。酒田市健康課子育て世代包括支援センター「ぎゅっと」に勤務し退職。令和2年に「ごっと助産院」を開設し院長として活動中。助産師・思春期保健相談士としての経験をもとに命や家族、生きることの大切さを伝えるべく、生徒世代から幅広い世代の方への講演活動を行っています。思春期教室から始まった命との関わり…。中高生や親たちの相談に耳を傾けながら、次世代を担う子どもたちと各世代の親たちの幸せを願い「命の尊さ、生きる力の大切さ」を伝えていきたいと思っています。

平成18年から庄内日報「ごっとさん、どうしよう…」を連載

平成19年に第29回母子保健奨励賞・毎日新聞社賞受賞 現在の天皇・皇后両陛下からお言葉を賜る

平成20年に「ごっとさん、どうしよう… ～思春期をめぐるSOS～」を出版

平成25年から山形県家庭教育アドバイザー就任

平成29年から酒田市広報に「大切な人へ」を連載

【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町
小・中・高校生	思春期の心と身体・自分を大切に…輝く命のメッセージ ・男女交際について・命の誕生と尊さ・デートDV・LGBTQ 等	庄内地域の諸学校 県内全域学校
小・中・高校生の保護者	就学児のおうちの方へ・思春期の子どもとの関わり方 ・子育ての不安と悩みに答えて	同上
保育園児保護者・妊産婦	乳幼児期に大切な心の栄養剤・0歳からの性教育	同上



かねこ

たけし

山形県家庭教育アドバイザー（庄内地区）

金子 健 氏（鶴岡市在住）

《専門領域：特別支援教育(発達障がい)・子育て支援》

【プロフィール】

平成30年3月鶴岡市立朝陽第四小学校退職

平成30年5月「個別支援教室ここ」設立

日本LD学会会員

日本ペアレント・トレーニング研究会会員

特別支援学校や小学校の特別支援学級、通級指導教室等、発達障がいに
関わる多くの実践を積んできました。

発達に凸凹があるお子さんへの学習支援、よりよい友だち関係を作る
練習を幼児・小中学生対象に行っています。保育園に定期的に訪問して、
園児への対応の仕方について保育指導員研修を行っています。

また、発達に凸凹がある子に寄り添い、親としてどうかかわるか、周りのおとなはどう接したらよいかな
どについて発信しています。



【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町
子育て中の保護者	「ペアレント・トレーニング」とは	鶴岡市
小学校保護者	子どもを傷つけない対応～子どもをほめるための方法～	鶴岡市
新1年生保護者	発達に凸凹があるお子さんについて～親としてできることは～	鶴岡市
保育園保護者	対応例から学ぶ適切な子どもへの声掛け	鶴岡市
小中学校教員	発達に課題のある児童・生徒へのソーシャルスキルトレーニング	鶴岡市

た ん じ

あ か ね

丹治 亜香音 氏（鶴岡市在住）

《専門領域：子育て支援・自然体験活動》

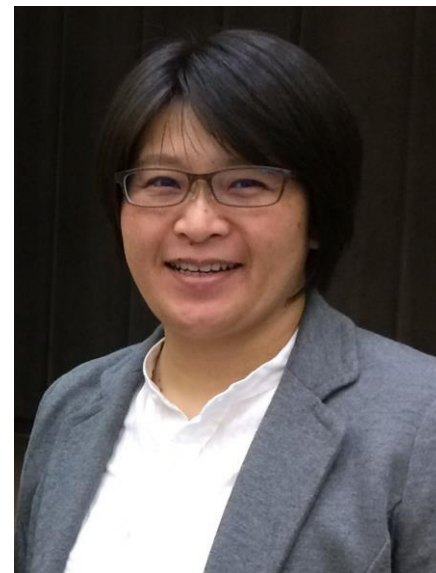
【プロフィール】

短大を卒業後、鶴岡のスポーツクラブのスイミングインストラクターとして勤務。その後、民間企業で働いたのち、転職した子育て支援の職場で一緒に働いていた3人で任意団体として「明日のたね」を立ち上げ、平成26年に法人化しました。令和4年から代表理事を務めています。

令和5年10月から県教育委員を務め、第7次山形県教育振興計画の策定に携わりました。

子育て支援センターを運営し、子育て中の親と子ども、庄内地域に暮らす高齢者の人たちがいつでも立ち寄れる「居場所づくり」をしています。さらに、「地域のいろいろな人＝第3の大人」として子育てを楽しみ、見守り、支える機会をつくっています。

小学生の長期休みの預かり事業「こども大学（楽）」や、幼児とその親を対象とした自然体験活動を行い、子どもの遊びと育ちを守ります。子育てはチームで行います。ひとりじゃない。地域とみんなの力で支えます。「おたがいさま」と「おかげさま」で寄り添い、ともに育ちあっていきましょう。



【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町
未就学児親子	ママとこどもの防災講座	庄内地域
小学生・幼児	自然体験活動・ネイチャーゲーム指導	庄内地域
家庭教育支援団体	地域全体で子どもや子育て家庭を見守り育てることができたなら…（団体活動紹介）	庄内地域

う た が わ

ゆ た か

歌川 裕 氏（酒田市在住）

《専門領域：家庭教育全般（小学生・中学生・子育て）》

【プロフィール】

昭和57年4月 山形県立鶴岡西高等学校（現鶴岡中央高校）で教員

生活をスタート

昭和62年4月 酒田市立第六中学校教諭

平成12年4月 山形県教育庁庄内教育事務所指導課指導主事

平成15年4月 酒田市立第四中学校教頭

平成30年1月 子どもの自立を目指し、子育てに悩んでいる保護者の支援を目的にSR会を設立（現在副代表）

平成30年3月 遊佐町立高瀬小学校を校長で退職

平成30年4月 遊佐町教育委員会社会教育課社会教育アドバイザー

令和5年4月 東北公益文科大学非常勤講師

子どもの自立を考える会「SR会（山形県唯一の文部科学省家庭教育支援チーム）」では、子育てに関する講演会の開催や個別の子育て相談会、子どもの心の居場所づくりを実施して、親子の悩みを解消するために支援の輪を広げています。

また、東北公益文科大学では、中高の教員を目指す大学生に社会科指導法の講義の中で、子どもの理解の仕方や学習意欲の持たせ方の指導を行っています。



【主な講演内容】

対 象	演 題	開催市町
小中学生保護者	子どもの見方、子ども理解について	酒田市
社会教育関係者	家庭教育支援の現場	三川町